

# 放課後子ども教室



今回の訪問(2019年8月28日)は「あらたてわんぱく遊び隊」です。

- ・開設年度・・・令和元年度
- ・主な活動・・・ニュースポーツ、折り紙・昔遊び
- ・活動回数・・・年間6回（水曜日）
- 読み聞かせ・昔語り、テーブルゲーム
- ・対 象・・・小学校1年生～5年生（14人）
- 国際交流

## 子どもたちに 本物の体験を！ ～ボランティア団体との連携～



「あらたてわんぱく遊び隊」は、今年度から始まった放課後子ども教室です。初めは信頼関係づくりと、ルール作りに苦労したそうですが、今では子ども達が教室のルールを理解してくれて、元気に楽しく過ごしています。この「あらたてわんぱく遊び隊」の活動プログラムはとても魅力的です。何といたっても子どもたちに本物を体験してもらう本物志向なのです。ニュースポーツは、地域の「きたあいづスポーツクラブ」の方にフラバールやラダーゲッターなどを教えてもらいます。読み聞かせや昔語りは、「おはなしのへや」「会津かたりべ会」の会員さんに。今後行う国際交流も外国の方に来ていただくそうです。うらやましい限りです。地域の人材確保が難しいのはどの地区でも課題となっていますが、いろいろなボランティア団体を活用し、子どもたちに本物と出会わせるのは、今後の活動プログラム作りの参考になります。



宿題を済ませ、全員が揃うまでは、テーブルゲームをして過ごします。活動指導員と将棋やオセロをしたり、ビーズ遊びをしたりと賑やかです。



かたりべをする時の衣装もまとい、本格的でした。やっぱり読み聞かせのプロの話し方に子どもたちは引き込まれていきました。本物に触れ、子どもたちは「もっと読んでー！」とおねだり。



教室終了後は、公民館職員や、コーディネーター、安全管理員、活動指導員が手分けをして、子どもクラブまで送り、お迎えの保護者に子どもを確実に引き渡します。公民館職員と手をつないで帰って行く子どもの姿に、「安全・安心」と「信頼」が見えました。



保護者との連絡は、公民館職員の吉田さんが窓口となり、一本化して対応しています。学校を経由しての連絡はタイムロスがあったり、学校にご負担を与えることになると考えたそうです。吉田さんは全保護者に連絡を取り、名簿を作成しました。緊急連絡はもちろん、出欠の連絡、下校の対応も行います。毎回毎回「子どもに何かあったら大変だ！」と、保護者との連絡を密にしています。子どもだけでなく保護者との信頼関係はこんなところからも生まれます。

